

09

# タグクラウド風\*のリンク表示

テキスト+リスト+ display [inline]

version of CSS CSS 2

対応ブラウザ IE 6 △  
IE 7 ○  
Opera ○  
Firefox ○  
Safari ○

design level ★ ★ ★ ★ ★



## technique of design

構成要素がシンプルに文字だけなので、配色で華やかさを出す。色相環上で等間隔に離れている個所に位置する色を集めて配色し、パステル調の中間色とすることで派手さを抑えた。この配色は主にリンクの文字色として適用した。背景は鈍いハイトーンの緑を使って引き締め、リンク部分の背景には緑の類似色相である黄色を使ってまとめている。リンク部分に使ったセリフ書体のお行儀良さを強調する目的で、タイトル部分は乱暴な手描き風の文字を使っている。

\*tag cloud. 多くのタグの集合体またはその表示方法。コンテンツにタグと呼ばれるキーワードを関連付け、そのアクセスの度合いなどによってテキストの表示方法が変化する。

制作・文 矢野 リン

### 1 タイトルを作る

Illustratorでタイトル名を入力し、適当に傾けて周囲を黒で囲む。こうすると、ラフな感じがでて面白い。CLOUDの部分はあえて水平に置いて他の部分の傾き具合が強調されるよう期待した。「DO NOT REMOVE THIS TAG」は見出しとして付ける部分であるが、こちらは背景に敷いた色ベタの周囲をギザギザに加工してラフな印象を強調している。



### 2 ページを構成する

XHTMLの作成に入る。最初にサイトIDである「Cloud Expert」をテキスト入力してh1要素でマークアップする。画像として画面に貼り込まなかったのは、スタイルを適用しない状態を確認したとき、他の部分にくらべこの画像が大きすぎる印象があったからである。次に見出しをh2要素でマークアップ。こちらはそれほど大きくないのでimg要素でページに貼り付けたうえでh2要素を与えている。h1要素はcontainerというIDのページ全体の素材をまとめるdiv要素の中に入れる。h2要素はその中へさらに作成したcontentsというdiv要素の中に入れる。



#### ヘッダー部分のXHTML

```
<div id="container">
<h1>Cloud Expert</h1>
<div id="contents">
<h2></h2>
</div>
</div>
```

### 3 リストを生成する

スタイルを適用した場合のレンダリング結果では、ボックスに流し込んだテキストのように見えているリンクリストだが、XHTML上ではli要素によってリスト化してある。各リストはtagsというIDを付けたdiv要素で一度グループ化した。そのうえでul要素でリストの開始を宣言してそれぞれのリンクをli要素でマークアップする。スタイルを参照するための方法はa要素に対するclass指定を採用した。同じセレクタを繰り返し使う予定があるのでこの場合classを使用するのが適当だ。リンクのスタイルには文字の大きさレベル別にtype1からtype5までのバリエーションを用意した。

#### 写真カラム部分のXHTML

```
<div id="tags">
<ul>
<li><a href="#" class="type5">art</a></li>
<li><a href="#" class="type1">australia</a> </li>
<li><a href="#" class="type4">baby</a></li>
<li><a href="#" class="type5">beach</a></li>
<li><a href="#" class="type2">birthday</a></li>
<li><a href="#" class="type3">blue</a></li>
<li><a href="#" class="type1">bw</a></li>
</ul>
</div>
```

### 4 スタイルの定義

ページ全体の素材をグループ化するdiv要素に関するスタイルを最初に作る。このボックスはoverflowをhiddenに指定して、領域からはみ出す部分は見切れる設定とした。また、左右のマージンをautoとすることでレイアウト全体を中央に寄せている。この部分の背景にはサイトのIDである「Cloud Expert」のタイトル画像を貼り付けた。XHTML上でh1要素でマークアップした「Cloud Expert」のテキストはレンダリング結果に反映しないようにtext-indentを「-9999px」に指定して画面外に飛ばしている。

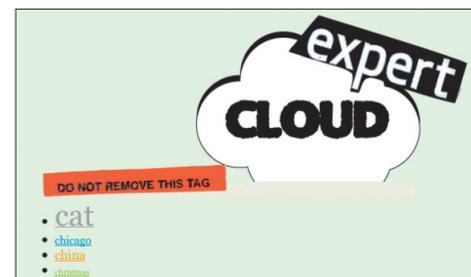
#### コンテナ部分のCSS

```
div#container {
width: 662px;
height: auto;
overflow: hidden;
margin-left: auto;
margin-right: auto;
margin-top: 20px;
background: url(../img/logo.gif) no-repeat right top;
padding: 150px 0px 0px 0px;
}
h1 {text-indent: -9999px;}
```



### 5 見出しの位置を調整する

見出しの「DO NOT REMOVE THIS TAG」は、右側に130ピクセル移動した場所に置きたいので、この部分の画像を含むボックス(contents)のmargin-leftを「130px」と指定し、左に余白を空けた。最上位階層にある親ボックス(container)の幅を少なくすれば良いだろうと思うかも知れないが、このレイアウトはフッターのコピーライト表記を見出し部分とずらす遊びを入れたいため真ん中のcontentsボックスをずらす選択を取っている。



#### 見出し部分のCSS

```
div#contents {
width: 434px;
margin-left: 130px;
}
```